

SOZAN STEAM 学習指導案 A 講座 1, 2 時間目

【題材】お茶は時空を超えて～ The tea is Universal. ～
【担当教科】国語科 家庭科 外国語科

本 時 案	
<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語（漢文）、英語、家庭科を関連づけて理解し、文理融合・教科横断型の学習から学ぶ姿勢を身につける。 ○「茶」を題材にした漢詩を鑑賞し、古代中国の文化やその中における茶のあり方を理解する。【幅広く深い教養】 ○ヨーロッパ諸国、特に英国における紅茶の普及についての歴史を探り、紅茶と英文学との関連性や日常生活に深く根づく紅茶の効用について考察する。 【幅広く深い教養】課題発見・解決能力】 ○英国における紅茶の歴史や文学作品について考察する。【幅広く深い教養】【新たな価値を創造する力】 	<p>学習活動</p> <p>指導・支援上の配慮事項など</p> <p>評価規準、観点、評価方法</p>
<p>(1 時間目 白居易の茶詩)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の概要について知る ・ 本時のゴール（白居易の茶詩を自分なりに鑑賞できる）を知る ・ 茶の起源について知る ・ 白居易の茶詩の書き下し、口語訳を確認する ・ Jamboard を用いて、白居易の茶詩に「五感と時空」の視点から分析を加える ・ 詩の分析について、近くの席の生徒と意見を交流させる ・ 白居易の茶詩について教師の解説を聞き、茶が庶民へと広がるきっかけとしての「茶詩」の役割を知る <p>(2 時間目 紅茶と英文学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨーロッパ諸国の紅茶の歴史・普及について英文を読み、理解を深める。 ・ 英文学作品（教編）の一節を鑑賞し、紅茶が登場している背景、効果等について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 時間を通して目標や概要がイメージできるよう留意する ・ 写真資料を活用し、具体的な内容を想起させるようにする ・ 机間指導を行いながらヒントを与える ・ Jamboard 上での分析作業をもって評価する（知識・技能）（思考・判断・表現） ・ 「茶」が薬用や高貴な身分の特権的飲み物としての用途を超えて庶民に広がるきっかけとして、文学作品が果たした役割について考えさせる ・ 机間指導しながらヒントを与える。 ・ ペアまたははグループで、紅茶が登場する文学作品を鑑賞し、感想を述べ合ったり、その効果について話し合う。何人かの生徒が発表する。 ・ 英国における紅茶の発展の歴史をたどることによって、なぜそのようなに普及したのかについて理解する。（知識・技能） ・ 人間とお茶との関係について広い視野で考察した後、お茶のように人生に潤いをもたらすものについて考察する。（思考・判断・表現） ・ 考察をまとめたレポートの提出により、評価する。（主体的に学習に取り組む態度）

SOZAN STEAM 学習指導案 A 講座 3 時間目

【題材】お茶は時空を超えて～ The tea is Universal. ～
【担当教科】国語科 家庭科 外国語科

本 時 案	
<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語（漢文）、英語、家庭科を関連づけて理解し、文理融合・教科横断型の学習から学ぶ姿勢を身につける。 ○茶のいれ方や作法の基本的な知識と技能を身につけることができる。 【主体的に行動する力】【自他を尊重する心】 ○茶を通して、歴史や文化について考えを深めることができる。【幅広く深い教養】 	<p>学習活動</p> <p>指導・支援上の配慮事項など</p> <p>評価規準、観点、評価方法</p>
<p>導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回までの内容の復習をする。 ・ 本時の目標の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回までに学習した漢文と英語の内容にも触れ、本時の目標について知らせる。 ・ 茶の種類や日本の歴史などについて知る。 ・ 日本茶と紅茶のいれ方や基本的な作法を实践することができ、お茶を通して歴史や文化について考えを深める。
<p>展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本茶と紅茶の道具の名称を知り、基本的ないれ方を理解し、実践する。 ・ 茶をお客へ出すときの作法を理解し、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実物なども用いて、茶道具の名称を確認させる。 ・ 日本茶の入れ方について、茶の種類によって温度が異なることや、美味しい入れ方について理解を促し、実践させる。 ・ 二人ずつ日本茶と紅茶をいれる担当（配膳役）に分かれ、客役も交代で行わせる。 ・ chromebook に配信しているスライド資料を提示し、実践方法を動画で確認させ理解を促す。 ・ 客役の生徒に配膳役の動き等で気がついたことがあれば伝えさせる。
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶を通して歴史や文化について考えることができる。 ・ 振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ chromebook で Form を配信し、本時の振り返りをさせる。 ・ 日常の中に、普段気がつかない歴史や文化があることにも触れる。 ・ 茶をいれる時の最適な温度が理解できている（知識・技能） ・ 茶を通して、歴史や文化について考えを深めること（主体的に学習に取り組む態度）

SOZAN STEAM 学習指導案 B 講座 1 時間目		本 時 案
【題材】和算の世界に触れよう 【担当教科】地歴・公民科 数学科		
目標	○和算の概要および発展の歴史的背景を知り、仲間と協力しながら解法を考えようとする態度を身につける。【幅広く深い教養】【他者と協働する力】	評価規準、観点、評価方法
導入	学習活動 1. 課題を知る。 (1)年齢当てクイズをするなかで「百五減算」について知り、和算に対する関心が高まる。 (2)「算額」を参考に、和算の水準の高さについて知る。 (3)和算成立以前の日本の算術の歴史、江戸時代の和算発展の歴史とその背景について学習することを 知る。 【参考文献】桜井進『江戸の算術教科書』(集英社)	指導・支援上の配慮事項など 資料プリントを配布。 (1)「百五減算」の解法は、授業後配信。 (2)中学の社会科学史的分野で学習した和算に関する知識を確認し、「算額」という独自数学文化が展開されたことに触れる。
展開	2. 和算成立以前の日本の算術の歴史の概要を知る。 (1)中国の算術の影響の下、算木・算盤からソロバンの道具の進歩、九九の導入といった算術上の進歩について知る。 (2)15～16世紀の河川工事や農地開発、築城や鉱山開発など土木工事、検地などの際に、算術の進歩が欠かせなかったことを知る。 3. 江戸時代の和算発展の歴史とその背景を知る。 (1)17世紀初めの毛利重能、吉田光由の業績を知る。 (2)17世紀末～18世紀初めに活躍した関孝和の業績について知るとともに、和算が磨づくことや地図製作に影響を与えたことを知る。 (3)江戸後期に和算が庶民にも広まり、定着していったことを知る。 (4)明治初期の文明開化に伴い洋算が導入され、和算が衰退したことを知る。 4. 和算の練習問題を解く。 「1斗の桶に入った油を、7升と3升のマスを使って、5升ずつに分ける最も手数のない方法を考えなさい。」 5. まとめを聞き、ワークシート(確認テスト)に記入する。 江戸時代に入々の算術に関する知的好奇心の高さに触れる。	学習活動 1. プロジェクタで図版を提示。資料プリントを配布。 (1)「百五減算」の解法は、授業後配信。 (2)中学の社会科学史的分野で学習した和算に関する知識を確認し、「算額」という独自数学文化が展開されたことに触れる。 【参考文献】桜井進『江戸の算術教科書』(集英社)
まとめ	ワークシート(確認テスト)への取組状況(知識・技能)	ワークシート(確認テスト)への取組状況(知識・技能)

SOZAN STEAM 学習指導案 B 講座 2, 3 時間目		本 時 案 (第2・3時間目)
【題材】和算の世界に触れよう 【担当教科】地歴・公民科 数学科		
目標	○算額(幾何)の問題に対して、仲間と協力しながら解法を考え、正答を導くことができる。【課題発見・解決能力】【主体的に行動する力】【他者と協働する力】 ○Geogebra(またはGrapes)を用いて、問題と同様の図形を描くことができる。【課題発見・解決能力】【他者と協働する力】	評価規準、観点、評価方法
導入	学習活動 1. 課題を知る。 初めに、和算についての取り組み・プロジェクトで簡単な課題を提示。 【参考文献】一関市博物館「和算に挑戦やすい問題について、幾つか解いてみる。	指導・支援上の配慮事項など 1. 課題を示す。 ・プロジェクトで簡単な課題を提示。 【参考文献】一関市博物館「和算に挑戦
展開	【課題1】 (1)長方形の紙を切って正方形を作る方法を考える。 (2)台形に内接する円の直径を求める。 (3)合同な3個の円が内接している正三角形内の、指定された部分の面積を求める。 (4)正方形内の半円2個で囲まれた部分に内接する大小の円(互いに外接)の直径を求める。 2. 課題に取り組み。 ・まず個人で考え、その後グループで取り組む。 (1)正方形の1辺の長さに着目して、分割する。 (2)接線の長さについての性質を利用する。 (3)3個の円の中心を結ぶ補助線を引きみる。 (4)(3)まで解けた生徒は挑戦する。 (5)発表する。解説を聞く。 3. 課題を知る。 【課題2】 Geogebra 幾何を用いて様々な作図をし、問題を作ってみよう。 4. 課題2に取り組み。 (1)Geogebra 幾何の使い方を知る。 (2)和算の問題や授業で学習した内容を参考にして作図・作図する。 (3)発表する。解説を聞く。 4. 課題2の取り組みを支援する。 ・Geogebra 幾何の使い方を説明する。 ・各個人・グループに、必要に応じてヒントを与える。グループで協力して取り組むよう伝える。 ・授業で学習した内容(図形と計量、図形の性質など)も用いて考えるよう促す。 ・早く作問できた生徒に発表させる。 5. まとめを聞き、ワークシート(確認テスト)に記入する。	指導・支援上の配慮事項など 1. 課題を示す。 ・プロジェクトで簡単な課題を提示。 【参考文献】一関市博物館「和算に挑戦
まとめ	ワークシート(確認テスト)への取組状況(知識・技能)	ワークシート(確認テスト)への取組状況(知識・技能)

SOZAN STEAM 学習指導案 C 講座 1 時間目

【題材】 Music and the Holocaust in Historical Perspective
【担当教科】 地歴・公民科 芸術科 外国語科

本 時 案		評価規程、観点、評価方法
<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語・音楽パートに繋がるように、歴史上のホロコーストに関わる史実を知る 【幅広く深い教養】 ○ユダヤ人迫害の理不尽さを知り、他民族やその文化に対し正しい理解と判断力を身につける 【幅広く深い教養】【自他を尊重する心】 ○パレスチナ問題や現代世界に残存する人道的犯罪に関心を持ち、歴史から学ぶ態度を身につける 【新たな価値を創造する力】 	<p>指導・支援上の配慮事項など</p> <p>学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の準備 ・ Chromebook <p>1 ホロコーストの定義や、過去の事例を知る</p> <p>2 ユダヤ人の迫害には、ヨーロッパにおける紀元前からの歴史に始まりがあることを知る</p>	<p>1. 本時の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語・音楽パートに繋がるように、歴史上のホロコーストに関わる史実を知る 【幅広く深い教養】 ○ユダヤ人迫害の理不尽さを知り、他民族やその文化に対し正しい理解と判断力を身につける 【幅広く深い教養】【自他を尊重する心】 ○パレスチナ問題や現代世界に残存する人道的犯罪に関心を持ち、歴史から学ぶ態度を身につける 【新たな価値を創造する力】
<p>【課題】 Classroom で配布した「まともシート」にキーワードになる言葉や知識を記録する</p>	<p>3 紀元前の放浪から建国期までの歴史を知る</p> <p>4 異民族支配下の時代、特にローマ帝国によるディアスポラについて知る</p> <p>5 ヨーロッパ中世からの、迫害の時代について、その実例を複数知る</p> <p>6 18 世紀から 19 世紀にかけてユダヤ人の解放が進んだ理由と、反ユダヤ主義への変化を知る</p> <p>7 ナチスドイツによるホロコーストの実態について知る</p> <p>8 戦後のイスラエルの建国と、ジェノサイド条約の成立について知る</p>	<p>◆ 説明から、キーワードを把握し、記録できているか (知識・技能)</p> <p>◆ 「世界史 A」の授業で学んだ内容と関連付け理解しようとしているか (思考・判断・表現)</p> <p>◆ 事実の隠蔽が惨劇の拡大に繋がった事を知らせ、真実を知り無関心であってはいないことに気づかせる</p>
<p>【課題】 現在の、迫害を受けている民族をあげてみよう。 【課題】 今回の講義から各自がわかったことを記述しよう。</p>	<p>1 歴史上の出来事の実態を知ることや、現在の世界における諸問題に無関心でいてはならないことに気づく</p>	<p>◆ 日常的に世界の情勢について、興味関心を抱いているか (主体的に学習に取り組む態度)</p>

SOZAN STEAM 学習指導案 C 講座 2 時間目

【題材】 Music and the Holocaust in Historical Perspective
【担当教科】 地歴・公民科 芸術科 外国語科

本 時 案		評価規程、観点、評価方法
<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Alma Rose と彼女の周りで起きた出来事の概要を理解する。【幅広く深い教養】 ○出来事と時代背景の関係を理解する。【幅広く深い教養】 ○音楽の意義と平和・命の尊さについて考える。 【新たな価値を創造する力】【自他を尊重する心】 	<p>指導・支援上の配慮事項など</p> <p>学習活動</p> <p>1. Alma Rose の生きた時代について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の内容 (世界史パート) をもとに振り返らせる。前時の授業内容の他に自分が知っていることがあれば共有させる。 ・ Alma Rose と音楽の関わりについて考える。 <p>2. Alma Rose を紹介する短い動画を見る。</p> <p>3. 「自分にとって音楽とは何か」について考える。</p>	<p>○ペアまたはグループで情報を共有できる。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>○自分の考えを短い言葉でまとめることができる。(思考・判断・表現)</p>
<p>【課題 1】 Alma Rose と彼女の周りで起きた出来事の概要を読み取ろう。</p> <p>1. Alma Rose について書かれた英文を読む。</p> <p>Q1. Alma Rose とはどのような人物か。</p> <p>Q2. Alma Rose が収容所で音楽を演奏するようになった経緯は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年表などを用いて、ワークシートにまとめる。 	<p>・ 時代背景を考えながら概要を読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 難しい語句については注を与える。 ・ 個人で黙読した後、各自理解した内容をペアやグループで共有させる。 	<p>○Alma Rose の生涯を年表などを用いてまとめることができる。(主体的に学習に取り組む態度) (ワークシート)</p>
<p>【課題 2】 Alma Rose と多くのユダヤ人にとつての音楽の存在意義を考えよう。</p> <p>Q1. Alma Rose が収容所で音楽を演奏したのはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理由も含めて、自分の意見をワークシートにまとめる。 	<p>・ 個人で考えた後、ペアやグループで意見交換させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Chromebook のフォォームで回答させる。 	<p>○Alma Rose とその他のユダヤ人にとつて音楽とはどのような存在だったのか、自分の言葉でまとめることができる。(主体的に学習に取り組む態度) (ワークシート)</p>

SOZAN STEAM 学習指導案 C 講座 3 時間目		本 時 案	
【題材】 Music and the Holocaust in Historical Perspective 【担当教科】 地歴・公民科 芸術科 外国語科		【題材】 Team-making 【担当教科】 数学科 保健体育	
目標	○世界史と西洋音楽史の関連を時代背景、世相と共に振り返る。【幅広く深い教養】 ○英語パートの講義を受け、Alma Rosé と Women's Orchestra in Auschwitz を想起させる。 【幅広く深い教養】【自他を尊重する心】 ○リズム、テクニクス、チェア、構成など創作に関わる技能を生かしながら、創造的に作詞に取り組む。 【新たな価値を創造する力】	学習活動	評価規準、観点、評価方法
準備	○ 本時の準備 ・作業用楽譜 / Keyboard / Google slide	指導・支援上の配慮事項など	
導入	1 西洋史と音楽史を絡めながら「中世～バロック～古典派～ロマン派」各時代の特徴を理解する 2 Alma Rosé とアウシュビッツ Alma Rosé と女性オーケストラの理解を確認する 3 ロマン派を代表するブラームスの交響曲第 1 番第 4 楽章「第 1 主題」を視聴する	○ 短時間で西洋音楽史の変遷を捉えさせるため、簡潔適切に解説する ○ 前時の英語講義を受け Alma Rosé の人間像・生き様・音楽性について ○ AA の指示の元、指定された曲を指定された場所で演奏させられた女性オーケストラ… ○ 後期ロマン派の傑作を「ロマンティック」に味わわせる	◆ 楽曲の文化的・歴史背景による表現の特徴を理解しようとしている (主体的に学習に取り組む態度)
展開	4 「第 1 主題」に「歌詞」を付ける 5 PDF で楽譜を受け取り「kami」で作詞編集し、期日までに送信提出する	◆ メロディーを形づくっている要素を知覚し、それらの動きを感じている (知識・技能)	◆ メロディーの特徴を生かし、反復・変化・対照などの構成を工夫し「キーワード」を用いて作詞している (知識・技能)

SOZAN STEAM 学習指導案 D 講座 1, 2 時間目		本 時 案 (第 1, 2 時間目)	
【題材】 Team-making 【担当教科】 数学科 保健体育		【題材】 Team-making 【担当教科】 数学科 保健体育	
目標	○スポーツテストのデータを分析し、ドッジボールの均等なチーム分けの基準を他者と協働しながら作成することができる。 【幅広く深い教養】【課題発見・解決能力】【他者と協働する力】【新たな価値を創造する力】 ○ 2 班単位でチーム分けの基準を共有し、課題を整理し再考することができる。また、各グループの発表内容に対して、優れた点や課題を整理することができる。 【課題発見・解決能力】【他者と協働する力】【新たな価値を創造する力】	学習活動	評価規準、観点、評価方法
導入	1. 4 人班で着席する。(10 班) この講座の目標や計画を知る。	指導・支援上の配慮事項など	
展開	2. チーム分けの課題(失敗例)を考察する。 ① 上体起こしの計測値のみを基準値とした。 ② シャトルランとハンドボール投げの計測値を足した値を基準値とした。	1. 4 人班で着席させる。 ワークシートを配付する。 目標や計画を示す。 2. チーム分けの課題(失敗例)解決の取組を支援する。	
1	3. スポーツテストのデータ(測定値)を受信する。 (1) スポーツテストのデータ(測定値)を配信する。 (2) 個人で考察後、班で考察する。解説が必要に応じて、ヒントを与える。 (3) 解決できた班を発表する。発表をさく。 3. スポーツテストの相関係数によるデータ分析を行う。 (1) 計測値の相関係数一覧表を受信する。 (2) 個人で考察後、班で考察する。計測値のものは、分析しにくいことに気づく。どのような相関係数が分析しやすいか考察し発表する。 (3) 評価点の相関係数一覧表を受信し考察する。分析結果を発表する。 4. ドッジボールの均等なチーム分けの基準を作成する。 (1) ドッジボールのルール説明をさく。 (2) 各班で、次の 3 点について、チーム分けの基準を作成する。	(1) スポーツテストのデータ(測定値)を配信する。 (2) まず、個人で考察するよう指示する。 (3) 解決できた班を発表し発表させる。正誤の確認後、解説を行う。 3. スポーツテストの相関係数によるデータ分析を支援する。 (1) 計測値の相関係数一覧表を配信する。 (2) まず、個人で考察するよう指示する。計測値のものは、分析しにくいか疑問し、どのような相関係数が分析しやすいか考察させ発表させる。 (3) 評価点の相関係数一覧表を配信し考察させる。分析結果を発表させる。 4. ドッジボールの均等なチーム分けの基準を作成を支援する。 (1) ドッジボールのルール説明をする。 (2) チーム分けの基準作成を支援する。	○ チーム分けの課題(失敗例)を解決することができる。 (知識・技能) <ワークシート> ○ スポーツテストの相関係数によるデータ分析を行うことができる。 (知識・技能) <ワークシート> ○ ドッジボールの均等なチーム分けの基準を作成することができる。 (知識・技能) <ワークシート>

①男女別のラング付け後の計算式(第3ソートまで) ②ラング付け後の男女別のチーム分けの仕方 ③男子チームと女子チームの組み方	
展 開	<p>5. チーム分けの基準についての協議を支援する。</p> <p>(1) 2班単位のグループをつくらせ、互いの基準について説明をし共有するよう指示する。</p> <p>(2) チーム分けの基準作成を支援する。</p> <p>6. グループで作成した基準の発表と質疑応答を支援する。</p> <p>(1) 発表時間2分、質疑応答2分で5グループが発表を行う。</p> <p>(2) 各班の発表に対して、優れた点や課題を整理する。</p> <p>(3) 自分達のグループ以外の4グループに対して「1位4点、2位3点、3位2点、4位1点」で採点し、Formへ入力する。</p> <p>7. まとめ</p> <p>(1) 採点結果と教員からのまとめをきく。</p> <p>(2) ワークシートをまとめる。</p>
2	<p>5. チーム分けの基準についての協議を支援する。</p> <p>(1) 2班単位のグループをつくらせ、互いの基準について説明をし共有するよう指示する。</p> <p>(2) チーム分けの基準作成を支援する。</p> <p>6. グループで作成した基準の発表と質疑応答を支援する。</p> <p>(1) 進行は、教員が行う。第1グループから順に、発表をさせる。発表したグループが、次の発表の際、必ず質問するように指示する。(第1グループの発表に対しては、第5グループが質問をする)</p> <p>(2) 各班の発表に対して、優れた点や課題を整理するよう指示する。</p> <p>(3) Formへ入力されたデータを集計し、1位のグループを決定する。</p> <p>7.まとめ</p> <p>(1) 1位のグループを発表し、まとめをする。</p> <p>(2) ワークシートをまとめさせる。</p> <p>(3) 授業後、1位のグループの基準で、生徒のスポーツテストのデータからドッジボールのチーム分けをする。</p>
	<p>○チーム分けの基準について協議することができる。</p> <p>(思考・判断・表現) <ワークシート></p> <p>○各班の発表に対して、優れた点や課題を整理することができる。</p> <p>(思考・判断・表現) <ワークシート></p>

SOZAN STEAM 学習指導案 D講座3時間目																
【題材】Team-making 【担当教科】数学科 保健体育科																
本 時 案 (第3時間目)																
目標	○スポーツテストのデータを分析し、ドッジボールの均等なチーム分けの基準を他者と協働しながら作成したものを活用することができる。 【主体的に行動する力】【課題発見・解決能力】【他者と協働する力】【新たな価値を創造する力】															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導・支援上の配慮事項など</th> <th>評価規準、観点、評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 本時の授業の流れを説明する ・展開1で決めたチーム案でドッジボールの試合をする。 ・ドッジボールのルールを説明する。</td> <td>・各チームで集合させ、チーム別にゼッケンを着用させる。 ・首より上を注意させる。 ・ボールが当たり、アウトになった生徒はゼッケンを脱ぐ。 ・外野から内野に復活できないことを確認する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 準備運動5分 ・各チームでW-U-Pを行う。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1. A-Bで試合をさせる(8分) C-D 2. A-Cで試合をさせる(8分) B-D 3. A-Dで試合をさせる(8分) B-C 4. まとめ ・試合結果をもとに、データで決めたチームの力が均等であったかを考えさせる。</td> <td>・各試合終了後にスコアをホワイトボードに記入する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 次の確認・安全確認 ・怪我をしていないか確認する。</td> <td>・本時のチーム案の根拠を再確認させ、データが適切に使用できたかを振り返りをさせる。</td> <td>○チームを均等に分けるためには、どのようなデータを分析すべきか理解し、説明することができる。 (知識・技能) (主体的に学習に取り組む態度)</td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準、観点、評価方法	1. 本時の授業の流れを説明する ・展開1で決めたチーム案でドッジボールの試合をする。 ・ドッジボールのルールを説明する。	・各チームで集合させ、チーム別にゼッケンを着用させる。 ・首より上を注意させる。 ・ボールが当たり、アウトになった生徒はゼッケンを脱ぐ。 ・外野から内野に復活できないことを確認する。		2. 準備運動5分 ・各チームでW-U-Pを行う。			1. A-Bで試合をさせる(8分) C-D 2. A-Cで試合をさせる(8分) B-D 3. A-Dで試合をさせる(8分) B-C 4. まとめ ・試合結果をもとに、データで決めたチームの力が均等であったかを考えさせる。	・各試合終了後にスコアをホワイトボードに記入する。		5. 次の確認・安全確認 ・怪我をしていないか確認する。	・本時のチーム案の根拠を再確認させ、データが適切に使用できたかを振り返りをさせる。	○チームを均等に分けるためには、どのようなデータを分析すべきか理解し、説明することができる。 (知識・技能) (主体的に学習に取り組む態度)
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準、観点、評価方法														
1. 本時の授業の流れを説明する ・展開1で決めたチーム案でドッジボールの試合をする。 ・ドッジボールのルールを説明する。	・各チームで集合させ、チーム別にゼッケンを着用させる。 ・首より上を注意させる。 ・ボールが当たり、アウトになった生徒はゼッケンを脱ぐ。 ・外野から内野に復活できないことを確認する。															
2. 準備運動5分 ・各チームでW-U-Pを行う。																
1. A-Bで試合をさせる(8分) C-D 2. A-Cで試合をさせる(8分) B-D 3. A-Dで試合をさせる(8分) B-C 4. まとめ ・試合結果をもとに、データで決めたチームの力が均等であったかを考えさせる。	・各試合終了後にスコアをホワイトボードに記入する。															
5. 次の確認・安全確認 ・怪我をしていないか確認する。	・本時のチーム案の根拠を再確認させ、データが適切に使用できたかを振り返りをさせる。	○チームを均等に分けるためには、どのようなデータを分析すべきか理解し、説明することができる。 (知識・技能) (主体的に学習に取り組む態度)														

SOZAN STEAM 学習指導案 E 講座 1 時間目

【題材】 “Radiation” and “Half-life”
 【担当教科】 理科 外国語科

本 時 案	
<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マリー・キュリー功績について英文で書かれた英文を読み、その概要を他者と協働しながら読み解く。【主体的に行動する力】【他者と協働する力】 ○英文の資料を読み、わかったことを共有し合いながら説明することができる。 【自他を尊重する心】 ○マリー・キュリーについて書かれた英文から新しい知識を得ることで、教科横断的な学びへの興味・関心を高める。【幅広く深い教養】【新たな価値観を創造する力】 	<p>学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材のタイトルから本講座のテーマを確認する。 ・講座の全体像及び本時の目標を明確にする。
<p>導入 5 分</p>	<p>指導・支援上の配慮事項など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“Radiation”及び“Half-life”が何を指すのかを確認し、これから何を学んでいくのかについての意識付けを行う。
<p>展開 40 分</p>	<p>評価規準、観点、評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線に関連する写真を見てその特徴を英語で説明し、後に見せる4枚の写真から適切なものを選び、活動を行う。 ・放射線に関する様々な研究を行ったマリー・キュリーの功績を TED のプレゼンテーション(英語・字幕なし)を見ながら読み取る。 ・プレゼンテーションの内容を記したスクリーンを読み、話の概要を捉える。 ・スクリーンに書かれている内容を
<p>導入 5 分</p>	<p>・マリー・キュリーの功績について書かれた難解な英文を、他者と協働しながら読み解く。 ・放射線が身の回りのどのようなもの存在しているのかを理解させる。</p>
<p>展開 40 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線に関連する写真を見てその特徴を英語で説明し、後に見せる4枚の写真から適切なものを選び、活動を行う。 ・放射線に関する様々な研究を行ったマリー・キュリーの功績を TED のプレゼンテーション(英語・字幕なし)を見ながら読み取る。 ・プレゼンテーションの内容を記したスクリーンを読み、話の概要を捉える。 ・スクリーンに書かれている内容を
<p>まとめ 5 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜語彙のヒントを与えながら写真の特徴を英語で説明できるように支援する。 ・活動はペアで交互に行わせる。 ・ Picture Description で用いた写真を再度提示し、共通して放射線に関連する写真であることを示す。 ・放射線が日常生活の身近なものに含まれていること、様々な分野で放射線は必要不可欠な存在となっていることを認識させる。 ・放射線に関するマリー・キュリーの功績を読み取らせ、どのようにして放射線が様々な分野に用いられるようになったのかを理解させる。 ①字幕なしのビデオで概要を捉える。 ②4人グループに分かれ、それぞれに異なるワークシート(ビデオのスクリーンを4分割したものを渡し、個人で内容を読み取る。 ③同じワークシートを持つもの同士で情

<p>をグループで伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの発表をもとに、本文の全体像を捉える。 ・読み取った内容を、改めて TED のプレゼンテーション(英語・日本語字幕付き)を見ながら確認する。 	<p>報共有をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ④4人グループに戻り、順番に英文の内容を伝え合う。 ⑤本文の全体像を確認する。 ⑥日本語字幕付きのビデオを見せ、自身が読み取ったものと実際に説明されているものが一致しているかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りを行う。 ・ふりかえりレポートを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google form を用いた振り返りレポート(思考・判断・表現)
<p>・放射線は日常生活の身近なものの中に含まれていることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マリー・キュリーの人生・功績に関して印象に残ったことを共有させ、理解を深めさせる。 	<p>・放射線は日常生活の身近なものの中に含まれていることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マリー・キュリーの人生・功績に関して印象に残ったことを共有させ、理解を深めさせる。 	<p>・本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりレポートを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google form を用いた振り返りレポート(思考・判断・表現)